

・三位一体主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十三編」

主に従う人よ、

主によつて喜び歌え。

主を賛美することは

正しい人にふさわしい。



聖霊のお働きは教会の誕生だけに限るものではありません。誕生後の聖霊のお働きこそ、ベンテコステに重大な意義として記憶されなければならないものです。

コリント教会は聖霊によつて誕生され、優れた働き手たちによつて導かれた教会でした。しかし、優れた教師アポロが呆れるほど、教会は教師の指導を拒み、無秩序な状態に陥つていたのです。洗礼という靈的なものを肉の誇りとし、なお「私はアポロにつく、私はペテロに、私はパウロに、私はキリストにつく」と言い、靈的な一致を肉の判断で壊していたのです。この世にもないほどの性的な無秩序に対し手を打つこともなかつたのです。争いが起り、この世の裁判に訴えることもありました。未熟で、知識においても自由になつてない信仰の弱い者たちを見下す風潮もありました。また主の晩餐を蔑ろにし、備えられた晩餐を先に食べ、ぶどう酒に酔つている者もおり、後から合流した貧しい人たちが晩餐に与れることもあつたと思われます。そのため、使徒パウロは主の聖餐を汚すことへの命の危険と共に、警告を述べていたのです。

一方、教会には聖霊による賜物が豊かに現れたようです。無秩序、不和、肉の思いで支配される教会の内側に、使徒パウロは聖霊による賜物は、互いに仕え合うために与えられたものであると訴えたのでした。そして、「あなたがたはもつと大きな賜物を受けるよう熱心に努めなさい。そこで、私はあなたがたに最高の道を教えます」と語り始められたのです。「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、私は騒がしいドラ、やかましいシンバル。愛がなければ、無に等しい」と。

「愛の章」としてよく知られるこの内容ですが、どれも極めて難しいことばかりではないでしょうか。一般に旧約聖書の律法は難しいという印象を持つのですが、この愛の章と言われているパウロの教えのほうが、旧約聖書が要求している以上に難しいものでです。もし、つだけでも、真正面に向き合い、行うことができたら、その人は律法にかなう人と言えるでしょう。

コリントの教会はあらゆる神祕を経験し、賜物が与えられ、聖霊によつて豊かにされた教会でしたが、教会は高ぶり、自慢、自らを知恵ある者とし誇り、与えられた聖霊の賜物での同情もなく、妬み、争いがある。使徒パウロの口にそのようなコリント教会は「愛」がなければ何の意味もないと、見えたのでした。そこに「愛は忍耐強い。情け深い。ねたまない。自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、苛立たず、恨みを抱かない」と語られたのです。

主イエスが教会一人一人をご自分の体とされたのは、病気を愈す力や奇跡、あらゆる「しるし」、世の知恵の言葉によってではありませんでした。十字架でした。そのキリストの十字架に表された愛を追いかける、その最高の賜物を追い求めようではないかと、使徒パウロの静かな叫び声がこの愛の章に表されていたのです。

先週、私たちはベンテコステ、聖霊降臨日を迎えました。「愛の章」にある一つでも、真正面に向き合い、行おうとしても、人は成し得ない。絶望を経験するのみと思います。しかし、聖霊は人間自らでは成し得ないこと、それを妨げるあらゆる肉の業を、焼き尽くす「火」となられ、それらを消し去られ、清くしてくださいます。高ぶりをへりくだりへ、妬みを惜け深い心に、苛立つ心を焼き尽くし、忍耐を授けてくださる方です。そのようにして、わが主キリストが私の中に生きているようにしてくださるのです。

願わくは、ベンテコステの日、一日だけではなく、その聖霊のお働きを常に求める教会、常に聖霊のお働きを見て確かめる教会でありたいのです。キリストの愛に至らせる最高の道、賜物を追い求めていきたい。でなければ、教会は無秩序に、この世となにも違わないものになつてしまつこともあります。りうると、コリントの教会は教えています。誕生された教会は聖霊の力を求め続けていく、そこに、ベンテコステの重要な意義があることを一緒に心に刻んでいきたいと思います。

2024年度

教 会全體課題

聖書の御言葉に生きる。

○本日の礼拝後、特別な集会はありません。

○二〇二四年度の教会員名簿が出来上がりました。ひとつ家庭に一冊ずつ配布しています。更に必要な方は事務所までお越しください。

○湘南キリスト教墓苑組合の総会が、本日の一五時三〇分から日本基督教団茅ヶ崎恵崇教会で行われます。

『ぶどうの会より』

○本日のぶどうの会はルツの会の後に行います。部屋は第二・三シオールームです。

『ルツの会より』

公開ルツの会を主日礼拝終了一五分後を目途に開始します。会は四〇分程度を予定しています。場所はカナンルームです。ご参加になる方は聖書、讃美歌をお持ちください。

『今日のお知らせ』

○六月二日

信仰者に学ぶ会

○六月一四日

附属幼稚園 おゆうぎ会

『今後の予定』

『ジユネーブ教会信頼問答』

第六聖日

使徒信条 「イエス・キリストを信す」に関して。

問四〇 そのことは、あなたに何か益がありますか。

答 すべてわれわれを益するためであります。イエス・キリストはすべてこれらの賜物を、われわれをしてそれにあざからせるために、お受けになつたからであります。これはわれわれがすべてを彼の充ち満ちたる中より受けるためであります。

問四五 それをもつと詳しく説明してごらんなさい。

答 イエス・キリストは、われわれにひろく分配するため、聖靈をそのすべての恵みと共に残りなくお受けになられました。すなわち神が適當とされる分量に従つて、各人におわかつになるのであります。かくてわれわれは、ちょうど泉から汲むようになります。

問四一 彼の王国はわれわれにどんな益がありますか。

答 それは、彼によつて良心の自由を与えられ、また義しさと潔さとの中に生きるため、彼の靈の

問四二 彼の王国はわれわれにどんな益がありますか。

答 もろもろの富にみたされ、われわれが魂の敵である惡魔や罪や肉や世に打ちつ力をえることであります。

『今日の子ども礼拝』

説教 「祝福を奪うヤコブ」

聖書 創世記27章18～25節

説教者 宮間彰広兄

問四三 では彼の祭司職は。

答 第一に、彼はわれわれを父なる神と和らがせるために、われわれの仲保者であられるごと。次に、彼によつて、われわれもまた神のみ前に出で、われわれ自身を、自らより生ずる一切のものと共に、犠牲物として神に捧げれる途をえるのであります。このようにして、われわれは彼の祭司職の仲間となります。

問四五 預言のことが残つています。

答 この任務は、彼に属する者たちの主であり師であるために、主イエスに与えられたものでありますから、父とその真理についての眞の認識にわれわれを導くことが目的であります。

かくてわれわれは神の家の生徒となるのであります。

問四五 それでは、あなたの結論は、キリストといふこの称号には、神が信徒たちに、これらによる成果と力を与えようとして、み子に与えられた三つの役目が含まれているというのですね。

答 その通りであります。

ヨハネ一章16節、エフエソ四章7節、ヘブライ人七～一〇章、一三章一三～一六節参照





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 499番 225番

説教 「人間をとる漁師の群」

聖書 ルカ5章1節～11節(新約P.109)

司式 山下 純一 兄

聖餐司式 黄允湜 牧師

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「いと高きにある神にのみ栄光あれ」J.S.バッハ

○讃美歌499番

1. 御靈よ、降りて むかしの如く

くすしき御業を 現わしたまえ

* くりかえし

(代々にいます みたまの神よ

今しもこの身に みちさせ給え)

2. 御靈よ、降りて めぐみの雨に

かわける心を 潤おしたまえ *

3. 御靈よ、降りて けがれを潔め

とうとき救いにいらしめ給え *

4. 御靈よ、降りて かよわき我を

きよめき力に とましめ給え *

アーメン

○讃美歌225番

1. すべての人に のべつたえよ

かみのたまえる みおとずれを

あめなる父は み子をくだし

すくいのみちを ひらきませり

2. あまねくのべよ よき知らせを

まことの幸を もとめつつも

むなしきものに さそわれゆく

世のはらからに のべつたえよ

3. 十字架のうえに 死にたまえる

み子こそ永久の すくいなれや

かみのたまえる この知らせを

地のはてまでも 告げひろめよ

アーメン

聖餐曲「主は羊飼いとして群れを養い」

(メサイアより) G.F.ヘンデル

後奏曲「父、御子、み霊の一人の神よ」D.R.ヨンソン

* 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。